

事業運営計画

概要

本校は1946年に創立され、中華民国僑務委員会の承認を受けており、1960年に「準学校法人」資格取得、1995年に「学校法人」の名称を取得した。現在、幼稚部、小学部、中学部の各学年に1クラスずつ設け、以下の教育方針を掲げている。

(1) 民族文化の発揚 (2) 日華親善の促進 (3) 生活知能の充実 (4) 科学知識の培養

幼稚部は基礎教育に重点をおき、小学部、中学部では中国語、日本語、英語能力の養成を図りつつ、日本の学習指導要領に沿う課程を編成している。将来、国際社会に貢献できる人材を育てることを目標としている。

社会のグローバル化、価値観の多様化の過程において、小さいながらも輝きのある学校として発展をめざす。

法人運営組織(2024.5.1 現在)

理事 17人、監事 2人、評議員 35人

教職員(2024.5.1 現在)

教員 専任 16人 兼任 12人 職員 専任 1人 合計 29人

理事、監事、評議員は在阪華僑、華人を中心に選任され、健全で円滑な意思決定、統制が機能するよう努めている。校務については教務、学務、多角開発推進、総務の各部に分担させ責任を明確化している。教職員は台湾からの採用者を主力とし、日本の教員免許等、教育に関する資格の取得を促し、向上心を高め、スキルアップを図っている。各種研修を実施し、台湾の教育資源を活用しつつ、教育内容、制度の進化に対応できるよう努めている。可能な限り若い教員を採用することで、より活気のある教育環境を整えている。

課程の組織及び収容定員 (2024.5.1 現在)

学 科	修業年限	入学定員	総 定 員	課 程
幼 稚 部	1 年	20名	20名	昼 間
小 学 部	6 年	40名	240名	昼 間
中 学 部	3 年	40名	120名	昼 間

主な年間行事

4 月／ 入学式、健康診断、歯科検診、胸部 X 線検査、春季遠足
5 月／ 授業参観、PTA 総会、第1学期中間テスト
6 月／ 創立記念運動会、中国語作文コンテスト、第1学期期末テスト
7 月／ 華語文能力測驗(TOCFL)、中学部キャンプ
8 月／ 夏季学童保育
9 月／ 授業参観、PTA 総会、バザー
10 月／ 第2学期中間テスト、新入生入試、小学部修学旅行、秋季遠足、日本語作文コンテスト
11 月／ 中国語スピーチコンテスト、三華僑校スピーチ交流会、第2学期期末テスト
12 月／ 学芸会、台湾短期留学体験(希望者)
1 月／ 模範生発表
2 月／ 大阪春節祭参加、学年末テスト
3 月／ 中学部修学旅行、学生作品展、卒業式

平日の教育活動時間については、始業時刻は午前8時20分、終業時刻は午後5時となる。登下校は原則として公共交通機関を利用、低年齢の児童については保護者による送迎となる。また土曜日には午前中に補習授業、午後から中国語教室を開講する。

上記教育活動時間帯には教職員が常駐し、送迎の保護者と連携して児童生徒の安全、防犯等にあたる。また教職員が大阪市や地域の窓口となる。上記以外の時間帯や日曜日、祝日、夏休み、冬休み、春休み等の休業期間中には、機械警備業者と連携し、災害時、緊急時に校長、教頭との連絡が遺漏なく行われる体制を整備する。また鍵ボックスや電子錠の導入により、地域住民の夜間、休日活動時等に円滑に施設の鍵の受け渡しを行える体制をつくる。

周辺の生活環境には、上記の登下校時間における道路通行量の増加、教育活動の時間帯における子どもの声をはじめチャイム音や放送、マイク音、楽器の演奏音など、一般的に学校で発生する音によって影響を与える場合があるものの、周辺住民と綿密に協議しながら改善を図りつつ、地域の活力として受け入れられることを期待したい。

施設の維持管理については、これまで既に積み重ねてきた校地校舎メンテナンスのノウハウ、専門家等とのネットワークを生かしながら、各種法定点検の実施はもちろんのこと、事業期間中、責任をもって維持管理する体制が整えられている。

事業運営計画

事業開始後には、現在の幼稚園から中学校までの運営に加え、高等部の新設（開始5年目まで）、認定こども園の新設（開始10年目まで）を行うことにより児童生徒数の増加が見込まれ、授業料等納付金の増収が予想される。さらに、現在の校地校舎についても収益事業の対象として、さらなる増収が見込める（事業開始2年目以降を予定）ため、30年間の事業期間中の賃借料、施設維持管理や大規模修繕に要する費用、教員人件費や教育経費の増加分、その他臨時の費用等も借入金なく支出できる計画である。